近畿圏での空飛ぶクルマ実装に向けた取組について

2026年10月

オリックス株式会社
法人営業本部　国内事業推進部
モビリティイノベーションチーム

オリックスの取り組みと実績

Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

空飛ぶクルマのポート運営の事業化に向けた取り組み 1/2

- 2018年から事業化に向けた検討を開始。国や自治体が主催する官民協議会へ参加し、各種の実証実験を実施
- 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）から「空飛ぶクルマの離着陸場オペレーション手法の確立」の研究開発を受託



ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

空飛ぶクルマのポート運営の事業化に向けた取り組み 2/2

- 大阪・関西万博では万博会場内のポート運営に協賛し、半年間のポート運営を実施
- 直近では、大阪府の調査事業や東京都の実装プロジェクトを受託し、空飛ぶクルマの社会実装に向けた取り組みに着手

2023-25年 官民協議会へ参加

次世代モビリティひょうご会議（兵庫県）
空飛ぶクルマに関する香川版官民協議会（香川県）
「空の移動革命」実現に向けた推進ネットワーク（愛媛県）
みえ空モビリティ地域実装研究会（三重県）
東京ベイeSGパートナー（東京都）
空と道がつながる愛知モデル2030ネットワークメンバー（愛知県）
信州次世代空モビリティ活用推進協議会（長野県）
やまなし空の移動革命・社会実装推進ネットワーク（山梨県）
奈良県次世代航空モビリティ活用推進検討会議（奈良県）

2024年 大阪府・大阪市・兵庫県実証実験

空飛ぶクルマ関西フォーラム、他

2025

2025年 大阪・関西万博 ポート運営

未来社会ショーケース事業　モビリティエクスペリエンス
空飛ぶクルマ　ポート運営協賛　（4/13～10/13）

2025年　大阪府調査事業、兵庫県実証

空飛ぶクルマ観光魅力促進調査事業
（需要や価格弾力性等に係る調査）

空飛ぶクルマイベント、他

2025年　東京都実装プロジェクト

空飛ぶクルマ実装プロジェクト（I期）
（東京における商用運航の実現に向けた検討・実証・実装）

2026

2026年　兵庫県・観光庁補助事業

淡路島（サスティナブルパーク）、神戸新港（TOTTEI）

2026年　大阪府調査事業・補助事業

販売モデルや旅客輸送オペレーションに関する調査
万博レガシーを活用した空飛ぶクルマ観光発信・体験事業

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.



© オリックス株式会社

空飛ぶクルマのポート運営の事業化に向けた実績 1/2

- 大阪・関西万博において万博協会との協賛契約に基づき会場内バーティポートを運営し、半年間にわたる運営を安全かつ円滑に実施
  - ✓ 空飛ぶクルマは、国内外の複数の事業者による合計81回のデモフライトおよび機体展示を実施
  - ✓ 来場者に実施したアンケートでは、静音性への驚きや、実用化への期待の声が聞かれた

空飛ぶクルマ



（SkyDriveデモフライト）


（丸紅デモフライト）



（ANA/Joby Aviationデモフライト）



（Soracle展示）



（EXPO Vertiport）



（空飛ぶクルマステーション）

<デモフライト実績>

- 丸紅（HEXA）：4月、7月（合計29フライト）
- SkyDrive（SD-05）：7月～8月（合計17フライト）
- ANA/Joby Aviation（Joby S4）：9月～10月（合計35フライト）

Source：経済産業省ウェブサイト *https://www.meti.go.jp/shingikai/mono_info_service/results_verification/pdf/001_04_00.pdf*

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

空飛ぶクルマのポート運営の事業化に向けた実績 2/2

- NEDO・大阪府・東京都から、研究開発や調査事業を受託

国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構（NEDO）
次世代空モビリティの社会実装に向けた実現プロジェクト（ReAMo）

事業年度：2022～2026年度
事業規模：28.2億円（2025年度）
メンバー：日本電気（代表）、国立研究開発法人宇宙航空研究開発機構（JAXA）、
KDDI、NTTデータ、Intent Exchange、日本航空、オリックス

大阪府
空飛ぶクルマ運航ルート事業環境調査事業

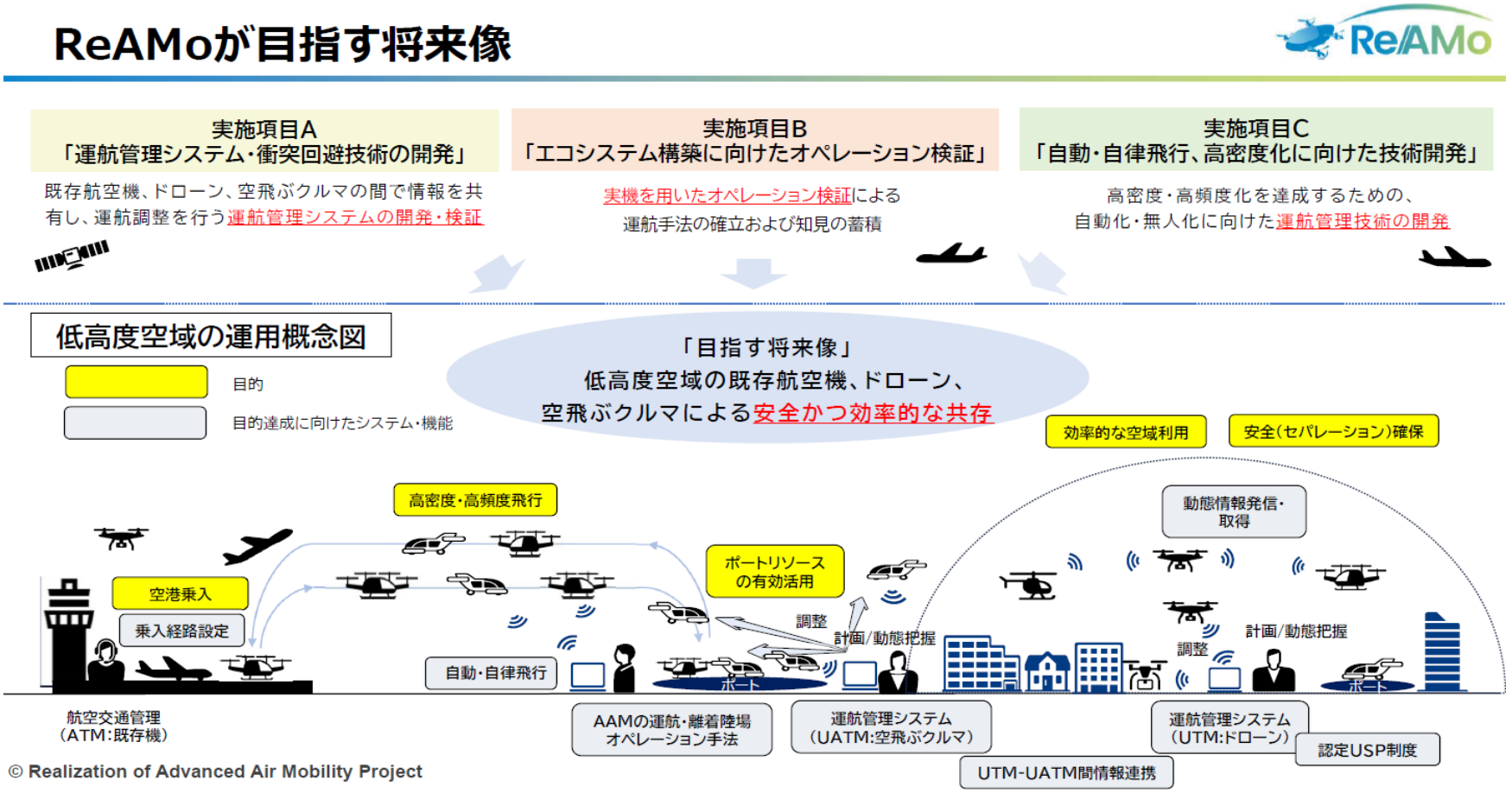
事業年度：2026年度
事業規模：2,000万円
メンバー：オリックス（代表）、JTB、AirX、Soracle、NTTデータ

東京都
空飛ぶクルマ実装プロジェクト（I期）

事業年度：2025～2027年度
事業規模：8,000万円（2025年度）
メンバー：日本航空（代表）、オリックス、京王電鉄、Soracle、住友商事、日本電気
日本空港ビルディング、大成建設、日本空港コンサルタンツ

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

（参考）ReAMoプロジェクト



Source：新エネルギー・産業技術総合開発機構*ReAMo*プロジェクトシンポジウム*2025*資料
https://reamo.nedo.go.jp/introduction/introduction_1_2_1_2#al03

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

事業化に向けた方針

- 万博協賛などの取り組みを通して得られた貴重な経験・知見、ネットワークやプレゼンスを活用して、関西・瀬戸内エリアでのポート運営の事業化を推進
  - ✓ 近畿圏を中心とする関西・瀬戸内エリア（半径約160km＝空飛ぶクルマの航続距離）での事業開始を想定
    - ➢ 関西圏を起点としたネットワークを構築し、瀬戸内方面（黄色円内）への広域展開を目指す
  - ✓ 近畿や中国・四国の当社各支店と連携し、各地域の多様なパートナーとの協業を通じて広域展開を図る構想
    - ➢ 地元自治体や地元企業と緊密に連携を図る



ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

近畿圏での取り組み

Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

2026年度 空飛ぶクルマ事業化準備事業

兵庫県補助事業

（仮称）淡路島ポート整備事業

（１）商用運航の実現に資する事業 | **（２）離着陸場整備事業** | （３）離着陸場候補地調査等事業

■ 事業化へのロードマップ

令和８年度	令和９年度	令和１０年度以降	令和１１年度以降
ポートの整備に向けた調査・設計	初期実装に合わせたポートの整備	商業運航の受け入れ開始	社会実装の浸透度および需要動向を踏まえ、運航拠点型ポートへ拡張

■ ねらい

淡路市夢舞台サスティナブル・パークを、淡路島における拠点、関西・瀬戸内からの目的地・中継拠点と位置付け、同パーク内にポートを整備。移動需要を創出し、人流拡大と地域価値の向上を図る。

■ 令和８年度中のアクション

① 離着陸場の整備に向けた制限表面および電力供給ルート等の調査
② 離着陸場の基本構想・配置計画の策定
③ 離着陸場の基本設計の作成

＜兵庫県淡路市夢舞台サスティナブル・パーク俯瞰図＞



提供：淡路市

■ 実施体制

＜代表事業者（申請者）＞

- オリックス株式会社

＜共同事業者＞

- 株式会社パソナグループ
- 関西電力株式会社

＜協力事業者＞

- 株式会社SkyDrive
- 株式会社Soracle
- 丸紅エアロスペース株式会社

Source：兵庫県*HP* (*https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr10/press/documents/r8sorakurusaitaku1.pdf*)

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

2026年度 空飛ぶクルマ事業化準備事業

兵庫県補助事業

（仮称）TOTTEI（新港第2突堤）ポート整備事業

（1）商用運航の実現に資する事業 | **（2）離着陸場整備事業** | （3）離着陸場候補地調査等事業

■ 事業化へのロードマップ

令和８年度	令和９年度	令和１０年度以降	令和１１年度以降
ポートの整備に向けた調査・施工	デモフライトの実施	商業運航の受け入れに向けた制度・運用面の調整	商業運航の受け入れ開始 運航頻度に応じた追加整備の検討

■ ねらい

三宮エリアに近接し、観光・ビジネス・高付加価値移動等の需要が想定されるTOTTEI（新港第2突堤）において、空飛ぶクルマの離着陸場を整備し、移動・遊覧サービスの創出を図る。

■ 令和８年度中のアクション

① 離着陸場の整備に向けた制限表面の調査および設計条件の整理
② 離着陸場の整備案の作成および関係者との合意形成
③ 離着陸場の整備（関係者との合意形成を前提）

＜TOTTEI　鳥瞰図＞



■ 実施体制

＜代表事業者（申請者）＞

- オリックス株式会社

＜協力事業者＞

- 株式会社One Bright KOBE
- 丸紅エアロスペース株式会社

Source：兵庫県*HP* (*https://web.pref.hyogo.lg.jp/sr10/press/documents/r8sorakurusaitaku1.pdf*)

ORIX Corporation
Copyright © ORIX Corporation All rights reserved.

オリックス株式会社
法人営業本部　国内事業推進部
モビリティイノベーションチーム

〒105-5135
東京都港区浜松町2-4-1 世界貿易センタービル南館

〒550-0005
大阪市西区西本町一丁目4番1号 オリックス本町ビル

- 本書に記載された意見は、本書作成時におけるオリックスの見解であり、今後通知なく変更されることがあります。
- 本書を使用することにより生ずる直接または間接のいかなる種類の損失に対しても、オリックスならびにオリックスの役職員は責任を負いかねます。